

平成30年5月2日

貨物運送事業者 各位

秋田県貨物自動車運送適正化実施機関

睡眠時間不足に起因する事故防止対策の強化について

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当機関の事業運営に種々ご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年6月1日より、点呼項目に「睡眠不足の状況」が追加となります。

つきましては、各社点呼記録簿に項目を追記していただきますよう、お願い申し上げます。

※詳細については、(公社)秋田県トラック協会のホームページに掲載予定ですので、ご確認願います。ホームページを閲覧できない方は、下記お問合せ先までご一報願います。資料をFAX等で提供いたします。

敬 具

記

・参考資料 [http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02\\_hh\\_000341.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000341.html)

以 上

【ご不明点のお問合せ先】

秋田県貨物自動車運送適正化事業実施機関 <small>つちくら</small> 土倉 <small>ふみと</small> 史
〒011-0904
秋田市寺内蛭根1丁目15番20号 (公社) 秋田県トラック協会内
TEL 018-863-5041 FAX 018-863-7354

# 点呼記録項目一覧

2018/6/1

項 目	乗務前点呼	中間点呼	乗務後点呼
点呼執行者名(同姓等の場合区別ができる表示)	○	○	○
運転者名	○	○	○
自動車の登録番号又は識別できる記号・番号等	○	○	○
点呼日時(分単位)	○	○	○
アルコール検知器使用の有無(できる限り測定値を記録)	○	○	○
具体的点呼方法(対面・電話・IT)	○	○	○
酒気帯びの有無	○	○	○
運転者の疾病、疲労、睡眠不足等の状況	○	○	
日常点検の状況(整備管理者等の運行可否決定があるか)	○		
指示事項(運行の安全に関する)	○	○	
自動車・道路及び運行の状況			○
交替運転者に対する通告			○
その他必要な事項	○	○	○

※ 点呼執行者名は執行者が識別できる表示で記載願います。(同姓の場合等)

※ 点呼日時は基本的に分単位で、点呼の終了の時刻を記録願います。

※ 具体的点呼方法は「対面」、「電話」、「IT」等で記載願います。

※ 日常点検の状況は、整備管理者等が運行の可否を決定しているかを確認願います。

※ 指示事項は運行の安全を確保するために必要な注意事項等を指示願います。

※ 運転者が自分で点呼を行うことはできません。(運行管理者等が運行する場合)

※ 中間点呼は、乗務前・乗務後のいずれの点呼も対面で行うことができない乗務を行う運転者に対し、乗務の途中において少なくとも1回電話その他の方法により、必要な点呼です。

※ 2018年6月1日より、乗務前点呼と中間点呼において、「睡眠不足の状況」が確認項目として追加になりました。

平成 30 年 4 月 20 日  
自動車局安全政策課

## 睡眠不足に起因する事故の防止対策を強化します!!

バス・タクシー・トラック事業について、運転者の睡眠不足による事故の防止を一層推進するため、睡眠不足の乗務員を乗務させてはならないこと等を明確化し、点呼簿の記録事項として睡眠不足の状況を追加します。

居眠り運転に起因する事故を防止し、また、働き方改革を進める観点から、運転者の睡眠時間の確保についてバス・タクシー・トラック事業者（以下「事業者」という。）の意識を高めるため、今般、旅客自動車運送事業運輸規則及び貨物自動車運送事業輸送安全規則を改正します。

### 1. 改正の概要

#### ①旅客自動車運送事業運輸規則及び貨物自動車運送事業輸送安全規則の一部改正

- ・ 事業者が乗務員を乗務させてはならない事由等として、睡眠不足を追加します。
- ・ 事業者が乗務員の乗務前等に行う点呼において、報告を求め、確認を行う事項として、睡眠不足により安全な運転をすることができないおそれの有無を追加します。
- ・ 運転者が遵守すべき事項として、睡眠不足により安全な運転をすることができない等のおそれがあるときは、その旨を事業者に申し出ることを追加します。

#### ②「旅客自動車運送事業運輸規則の解釈及び運用について」及び「貨物自動車運送事業輸送安全規則の解釈及び運用について」の一部改正

点呼時の記録事項として、睡眠不足の状況を追加します。

### 2. スケジュール

公布：平成 30 年 4 月 20 日（金）（本日）

施行：平成 30 年 6 月 1 日（金）

<お問い合わせ先>  
自動車局安全政策課 小田、熊本  
TEL：03-5253-8111（内線 41623）  
03-5253-8566（直通）  
FAX：03-5253-1636

旅客自動車運送事業運輸規則及び貨物自動車運送事業輸送安全規則の  
一部を改正する省令案に関する意見募集結果について

平成30年4月20日  
国土交通省

国土交通省では、平成30年3月2日から同年3月31日までの間、旅客自動車運送事業運輸規則の一部を改正する省令案等に関する意見の募集を行いました。

その結果、本件に関して、16件の御意見が寄せられました。

お寄せいただいた御意見の概要とそれに対する国土交通省の考え方を別紙のとおりまとめましたので公表します。

皆様の御協力に深く御礼申し上げるとともに、今後とも国土交通行政の推進に御協力いただきますようよろしく御願います。

1 実施方法

- (1) 募集期間 平成30年3月2日(水)～3月31日(土)
- (2) 周知方法 電子政府の総合窓口(e-Gov)に掲載
- (3) 意見提出方法 電子メール、FAX及び郵送

2 意見数

提出意見数 16件 (提出者数16名)

3 問い合わせ先

自動車局安全政策課 小田・熊本 TEL:03-5253-8111 (内線41623)

(別紙)

## 御意見の概要及び国土交通省の考え方

御意見の概要	国土交通省の考え方
「解釈運用通達」の変更に関しては、施行までに猶予期間を設けるべきではないか。	「旅客自動車運送事業運輸規則の解釈及び運用について」及び「貨物自動車運送事業輸送安全規則の解釈及び運用について」の改正については、4月下旬の発出から約一ヶ月後の6月1日に施行することとしております。
これまで事業者が運転者を乗務させてはならない事由として「疾病、疲労その他の理由により安全な運転をし、又はその補助をすることができないおそれがある」と規定しており、その「その他の理由」には睡眠不足が含まれていたため、今回の改正は不要ではないか。	これまで運転者を乗務させてはならない「その他の理由」の中に睡眠不足は含まれていましたが、今回の改正においてこれを省令上明記することで、睡眠不足で運転をしてはならないことや睡眠の重要性を事業者や運転者の方々に認識していただくと考えます。 また、点呼の際に睡眠不足により安全な運転をすることができないおそれがあるか否かについて確認することを明確にし、さらにその結果点呼簿に睡眠状況の結果を記載することとすることで、運転者の睡眠不足の状況が確実に確認されるようになるものと考えます。
点呼時に運転者が睡眠不足を感じなくても乗務開始後に眠気を感じる可能性もあるため、乗務開始後も申告させることができるようにすべきではないか。	輸送の安全の確保の観点から、運転者は、睡眠不足等の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは事業者に申し出ることとされており、現行制度でも運転者が乗務開始後に眠気を感じたときの申告を妨げるものではありません。
睡眠不足により安全な運転をすることができないおそれがあるか否かの判断は運転者の自己申告によることとなるのか。睡眠時間が一定時間以下であった場合は乗務させない等の基準を設けてはどうか。	睡眠不足により安全な運転をすることができないおそれがあるか否かの判断は運転者の自己申告や、運行管理者等から見て普段の様子と違うところがないかどうか等から総合的に判断することとなります。 なお、今回の改正では、運転者により睡眠時間が何時間必要かは個人差があるため、睡眠時間が一定時間以下であった場合は乗務させない等の基準を設けないこととします。

<p>運転者が睡眠不足か否かについて、睡眠不足であるにもかかわらず睡眠不足ではないと嘘の申告をする可能性があるため、この改正に意味はないのではないか。</p>	<p>運転者が睡眠不足ではないと申告している場合であっても、運行管理者等が当該運転者の普段の様子等から考慮して睡眠不足であると判断する場合には、当該運転者を乗務させてはならないこととなります。</p> <p>また、今回の改正により、睡眠不足で運転をしてはならないことや睡眠の重要性を運転者の方々に認識していただけるものと考えます。</p>
<p>きちんと休息期間が設けられているはずであるにもかかわらず、睡眠不足であると申告される場合はどうしたらよいか。</p>	<p>輸送の安全の確保の観点から、運転者から睡眠不足である旨の申告があった場合は当該運転者を乗務させてはなりません。</p> <p>また、事業者が改善基準告示を遵守した休息期間を設けている場合であっても、運転者の睡眠時間が十分ではない場合には、運転者に対して乗務の前日にはきちんと睡眠をとるよう指導を行う等の対応が必要であると考えます。</p>
<p>運転者から睡眠不足により安全な運転ができないおそれがあると申告があった場合は、点呼簿に記録するとともに、運転者から睡眠不足であると申告があった際に当該運転者を乗務から外すこととすべきではないか。</p>	<p>点呼簿の記録事項については、今回の改正により運転者の睡眠不足の状況について記載が必要になります。</p> <p>また、睡眠不足により安全な運転をし、又はその補助をすることができないおそれがある乗務員を乗務させてはならないことが省令上明記されます。</p>
<p>運転者が睡眠不足であって、さらに交替運転者が見つからないような場合には事業者が運行義務を免れることを明記してほしい。</p>	<p>まずは運転者が睡眠不足とならないよう日頃から指導を行うことや、十分な休息期間を設けていただくことが必要と考えます。</p> <p>その上で、運転者が睡眠不足により乗務することができないこととなる場合に備え、交替運転者を適切に配置いただきますようお願いいたします。</p>

<p>点呼簿への睡眠不足の状況の記録については、点呼簿の既存の記録事項である運転者の疾病、疲労の状況とは別に記録することとすべきではないか。</p>	<p>点呼の際に睡眠不足により安全な運転をすることができないおそれがあるか否かについて確認がなされ、その結果点呼簿に睡眠不足の状況が記載されているものであれば、点呼簿の記録方法は問いません。</p>
<p>公布から施行までが短期間のため、点呼簿に睡眠不足の状況についての記録欄を設ける変更が間に合わない可能性がある。また、既に印刷してしまった睡眠不足の状況についての記録欄がない点呼簿が無駄になる可能性がある。</p>	<p>点呼簿の様式は特に定めておりませんので、睡眠不足の状況についての記録欄がある点呼簿の用意が施行までに間に合わない場合や、睡眠不足の状況についての記録欄がない点呼簿がまだ余っている場合は、その余白部分に睡眠不足の状況について確認した結果を記入していただくことが可能です。</p>

※類似のご意見や1件に複数の内容が含まれるご意見については整理した上で掲載しております。また、本改正と直接の関係がないため掲載しなかったご意見や質問についても、今後の施策の推進に当たって、参考にさせていただきます。